

E

lementary school



写真上 宝箱に掛けた鍵を入れたタイムカプセルを、蛇の彫刻の前に埋める各小学校の代表
写真下 12年後の自分へのメッセージが入った宝箱に鍵を掛ける各小学校の代表

12年後の自分にメッセージ

猪苗代の子供たちの夢を応援する会（鈴木長治代表）が主催する第6回「猪苗代“えと”タイムカプセル」埋設式は12月19日、ホテルリステル猪苗代内の猪苗代ハーブ園で開催され、町内各小学校から6年生150人が参加しました。

参加した児童を代表して、吾妻小学校の小板橋美佳さんと福地猛さんが将来の目標などを発表。小板橋さんは「柔道でオリンピックに出場し、金メダルを取りたい」と、福地さんは「大好きな猪苗代でスノーボードを続けて、1440°（4回転）ジャンプを決めたい」と話しました。

その後、将来の自分へのメッセージなどが入った宝箱に鍵を掛け、鍵を入れたタイムカプセルを来年のえとである蛇の彫刻の下に埋めました。

12年後、立派な大人になった150人が再び集まり、埋めたタイムカプセルの封印が解かれます。

H

igh school



写真上 ボランティアの皆さん。後列左から1人目が小檜山さん。後列右から1人目が佐藤さん
写真下 お楽しみ会で児童らに「6人7脚」の説明をする2人

猪高生がお兄さん役で活躍

11月18日から23日までの間、町内の小学4～6年生を対象に国立磐梯青少年交流の家で開催された通学キャンプ。この事業に参加したボランティアの中に、猪苗代高校の生徒の姿がありました。

参加したのは、佐藤恭央さんと小檜山輝さん（共に3年）。期間中は、社会人や大学生のボランティアと共に体験活動のサポートや児童の生活指導などにあたり、食事や入浴の時も子どもたちと一緒に過ごしました。お兄さんのような身近な存在として人気を集めた2人は、通学キャンプ最終日に子どもたちからたくさんの手紙をもらいました。

佐藤さんは「自分たちで企画したお楽しみ会が成功してうれしかった。最後に子どもたちから手紙をもらって感激しました」と、小檜山さんは「楽しかったの一言に尽きます。毎日、子どもたちがいる交流の家に帰るのが楽しみでした」と話しました。

スクールトピックス & ニュース INAWASHIRO



写真上 コンサートの途中でオペラの発声法を練習し、みんなで「千の風になって」を歌いました
写真下 スペシャルゲストの宇南山校長が甘い歌声を披露しました

心を癒す美しい歌声に陶醉

郡山市在住の音楽家、橋本妙子さんによるオペラコンサートが12月6日、猪苗代中学校で開催され、同校の生徒と保護者ら約400人が生の音楽を体感しました。

演奏に先立ち、橋本さんが「心を癒してもらうために精一杯歌います」とあいさつ。引き続き「アヴェマリア」「もののけ姫」など7曲を披露し、美しい歌声で生徒らを魅了しました。コンサートの最後には、宇南山忠明校長が「虹と雪のバラード」を橋本さんとデュエット。甘い歌声を披露し、会場を盛り上げました。演奏終了後、渡邉まみさん（2年）が「心がおだやかになりました。楽しい時間をありがとうございます」とお礼の言葉を述べました。

佐藤春菜さん（2年）は「まさか校長先生が歌うとは思わなかった。意外と上手でした」と笑顔で感想を話しました。



写真上 重たいきねに悪戦苦闘するうめ組の子どもたち
写真下 「アーモンドもちが一番好き」と話す手代木未乙ちゃん（手前）と「どのもちも全部おいしい」と話した坂内莉紅ちゃん（奥）

おいしいもちができました

12月に入り、町内の各保育所では恒例のもちつき会が開かれました。

猪苗代保育所のもちつき会は12月11日、同保育所で開かれ、66人の子どもたちの「よいしょー、よいしょー」という元気なかけ声が保育所中に響き渡りました。

つくたてのモチは、汁もち、アーモンドもちと納豆もちの3種類に分けられ、子どもたちのお昼ごはんになりました。

さくらA組の佐藤舜哉くんは「きねは重かったけど、上手にできた。どのもちも全部おいしい」と、手代木未乙ちゃんは「アーモンドもちが一番おいしい」と感想を話しました。

きねを持ってない小さな子どもたちは、先生、お兄ちゃんやお姉ちゃんのもちつきを笑顔で応援。ひときわ大きなかけ声を送りました。

J

unior high school

N

ursery school